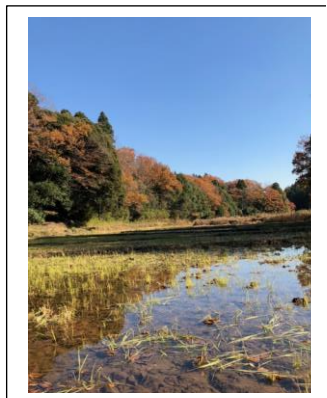


堂 谷 津 の 里 か ら

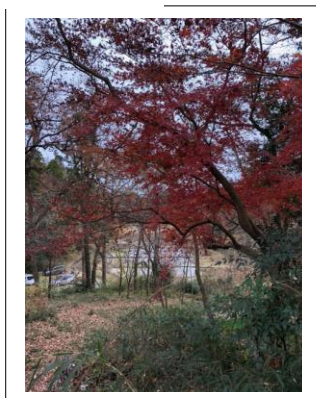
堂谷津の里では、11月3日に収穫祭を行いました。収穫祭では、親子お米づくり体験参加の家族と会員合わせて約50名が協力して昼食作りに取り組み、自然の恵みに感謝し、お米やお餅などを頂きました。収穫祭が終わると、田んぼでは冬支度、水を張って冬期湛水を開始しています。また、山林では、危険木伐倒、もやかき（コラム参照）などの整備が進んでいます。山林を巡ると、枯葉を踏む音や感触、美しい紅葉など季節を実感することができます。今年の活動は、12月21日で終了し、来年は1月11日からスタートします。

【田んぼでは】



冬期湛水（耕うん、代かきを行わなくても5月には田植えができるようになります。）

【山林では】



色鮮やかに紅葉したコナラ広場のもみじ



伐倒し、輪切りにした危険木

【収穫祭】



収穫したうるち米（いのちの壺）の5升釜での炊飯



もみ殻を用いての焼き芋



収穫したもち米（ヒメノモチ）で作った伸し餅の炭火焼き

【千葉県環境研究センター出前講座】

出前講座は、2019年、2020年に続き、第3回目となります。地質環境研究室の風岡主席研究員、伊藤研究員、小島研究員から、ビオトープや田んぼに設けた10数箇所の観測井戸で、地下水位、水質（pH、酸化還元電位、電気伝導率（EC）、各種イオン濃度）を測定した結果から得られたことについて報告がありました。堂谷津の里で湧水を利用した冬期湛水・不耕起栽培を行っていくためには地下水の状態を知る必要があります。今回の調査で興味深い結果が明らかになってきました。その概要については次回ニュースレターに掲載する予定です。



ハウスの前で資料説明



観測井戸



ビオトープの小川で水質測定方法の説明

<もやかき>

かつては20年生くらいで伐採して萌芽更新させる薪炭林の管理作業であったが、堂谷津では50年くらい放置されたコナラ林で、伐採しても萌芽することは難しいと考えていた。そこで2018年秋に小規模皆伐して苗を植樹したのだが、小径木だった切り株からひこばえが多数発生した。3年目になるこの秋に、本数を減らすため、太くて真直ぐなもの、地面に近いものを残すもやかきをした。5年目くらいで2,3本仕立てにする計画である。



<情報コーナー>

来年は堂谷津の里がより多くの皆さんにとって体験と憩いの空間となるよう、様々な企画を検討しています。企画がまとまりましたら、HPやニュースレターでお知らせします。一緒に活動することを楽しみにしています。

NPO 法人バランス 21

E-mail :yatosatoyama@gmail.com

URL :<https://balance21.jimdo.com/>

連絡先：千葉県若葉区谷当町 70

TEL & FAX:043-239-0645 (現地)